

■コメント

1. インフルエンザ

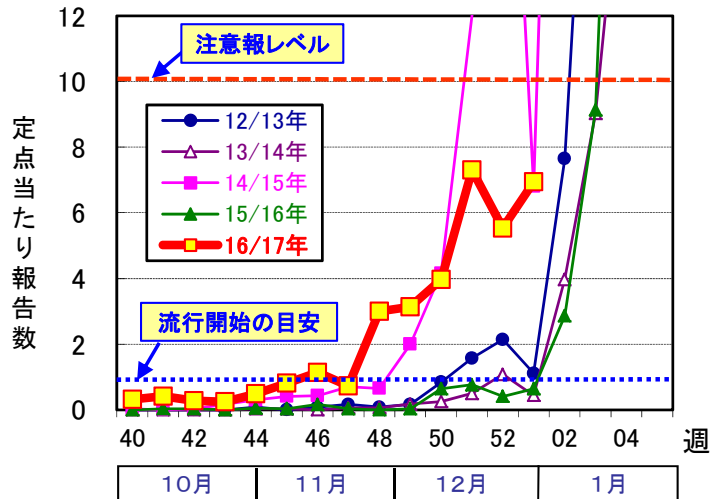
定点医療機関から257人(定点当たり6.95人)の報告がありました。また、市内の基幹病院2か所(インフルエンザ定点ではない)による迅速診断キット検査結果では、報告のあった388人すべてA型陽性でした。

例年、冬休みが終わり、学校が始まると急激に患者が増加するため、1～2週のうちに注意報レベル(定点当たり10.0人)を超えると予測されます。

健康管理に十分注意し、手洗い、咳エチケットなど感染予防対策を徹底しましょう。

第1週は、定点医療機関が年末年始休診のため、各疾患の増減の評価及び「定点把握感染症報告状況」(下表)の発生記号の表示を行っていません。

インフルエンザの流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年(注)間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年(注)間	発生記号
フィリ	インフルエンザ	257	6.95	2.42		小児科	流行性耳下腺炎	9	0.38	0.63	
小児科	咽頭結膜熱	10	0.42	0.25		眼科	RSウイルス感染症	13	0.54	0.61	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	34	1.42	0.83		眼科	急性出血性結膜炎	1	0.13	-	
	感染性胃腸炎	121	5.04	5.81		眼科	流行性角結膜炎	7	0.88	0.56	
	水痘	18	0.75	1.01		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	17	0.71	0.04		基幹	無菌性髄膜炎	-	-	0.12	
	伝染性紅斑	7	0.29	0.41		基幹	マイコプラズマ肺炎	2	0.29	0.34	
	突発性発しん	5	0.21	0.19		基幹	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	百日咳	-	-	0.01		基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	2	0.08	-							

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	→	←	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	1	女性(40歳代)

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶血性 レンサ 球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス 感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス) 感染性胃腸炎
報告数	広島市	第49週	116	11	62	389	11	18	2	1	1	2	9	13	1	3	-	-	5	-	-
		第50週	147	6	58	314	12	18	7	8	1	4	6	7	-	3	-	-	3	-	-
		第51週	270	6	57	245	18	28	5	13	-	3	5	17	-	6	-	-	-	-	-
		第52週	205	2	34	147	18	10	2	9	-	-	2	15	-	3	-	-	1	-	-
		第1週	257	10	34	121	18	17	7	5	-	2	9	13	1	7	-	-	2	-	-
定点当 たり	広島市	第49週	3.14	0.46	2.58	16.21	0.46	0.75	0.08	0.04	0.04	0.08	0.38	0.54	0.13	0.38	-	-	0.71	-	-
		第50週	3.97	0.25	2.42	13.08	0.50	0.75	0.29	0.33	0.04	0.17	0.25	0.29	-	0.38	-	-	0.43	-	-
		第51週	7.30	0.25	2.38	10.21	0.75	1.17	0.21	0.54	-	0.13	0.21	0.71	-	0.75	-	-	-	-	-
		第52週	5.54	0.08	1.42	6.13	0.75	0.42	0.08	0.38	-	-	0.08	0.63	-	0.38	-	-	0.14	-	-
		第1週	6.95	0.42	1.42	5.04	0.75	0.71	0.29	0.21	-	0.08	0.38	0.54	0.13	0.88	-	-	0.29	-	-
	全国	第51週	8.38	0.48	2.36	17.28	0.60	0.39	0.13	0.38	0.01	0.07	0.88	0.70	0.01	0.69	0.01	0.03	0.84	0.02	0.05
		第52週	8.54	0.39	1.54	9.64	0.51	0.24	0.08	0.27	0.01	0.05	0.72	0.60	0.01	0.54	0.01	0.02	0.76	-	0.07

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(37.9)	16	男	2016/11/23	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスA(H3)型
インフルエンザ	発熱(40.0) 脳炎 意識障害 異常行動	12	男	2016/12/02	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスA(H3)型
インフルエンザ	発熱(38.8) 嘔吐 喉頭炎	5	男	2016/12/05	鼻汁(拭い液)	インフルエンザウイルスA(H3)型
感染性胃腸炎	発熱(37.8) 嘔吐 下痢 腹痛	8	男	2016/11/24	糞便	ノロウイルスG2
その他の呼吸器疾患	発熱(39.0) 咽頭炎 肺炎 鼻炎	1	女	2016/11/15	咽頭拭い液 糞便	RSウイルス アデノウイルス2型
その他の呼吸器疾患	気管支炎	4	女	2016/11/23	鼻汁(拭い液)	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	気管支炎	0	不詳	2016/11/25	咽頭拭い液	ライノウイルス RSウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(38.5) 咽頭炎	0	不詳	2016/11/25	糞便 鼻汁(拭い液)	エコーウイルス25型
その他の呼吸器疾患	発熱(39.0) 上気道炎	9	男	2016/12/03	咽頭拭い液	肺炎マイコプラズマ
その他の疾患	発熱(38.5)	0	女	2016/11/21	糞便 咽頭拭い液	エコーウイルス25型 ライノウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】広島市におけるインフルエンザの流行開始からピークまでの期間

シーズン	流行開始時期 (定点当たり1.00人以上となった週)	ピークとなった週と その週の定点当たり報告数	流行開始から ピークまでの期間
2016/17	第46週 (11月14日～11月20日)		
2015/16	第2週 (1月11日～1月17日)	第6週 (2月8日～2月14日) 57.0人	4週間
2014/15	第49週 (12月1日～12月7日)	第4週 (1月19日～1月25日) 50.6人	7週間
2013/14	第52週 (12月23日～12月29日)	第5週 (1月27日～2月2日) 21.3人	5週間
2012/13	第51週 (12月17日～12月23日)	第4週 (1月21日～1月27日) 50.6人	5週間
2011/12	第48週 (11月28日～12月4日)	第5週 (1月30日～2月5日) 29.0人	9週間

インフルエンザ定点医療機関(市内37か所)からの報告数です。

インフルエンザに関する最新情報は、広島市感染症情報センターHP「インフルエンザ最新情報」をご覧ください。
URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/1268284008999/index.html>

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。
なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。
URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2017年第1週(1月2日～1月8日)